

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:超高压電子顕微鏡センター

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、基礎セミナー「目で観る物性論」を開講し、また高校生に対する学内施設見学会を9件実施するなど、適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、電子顕微鏡その場観察法による物質極微プロセスの解明に関して第9回本多フロンティア賞を受賞するとともに、「超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)」の活動において、次世代超高压電顕要素技術開発、ならびに5件の共同研究を実施したほか、新たにナノテクノロジープラットフォーム事業により研究支援活動に関する組織・運営体制を整備し、41件の課題を受け入れるなど積極的に取り組み、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、ナノサイエンスデザイン教育研究センター実施の「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム」(社会人教育)に参画し、研究成果を社会に還元するなど、適切に実施している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成24年度は、300万ボルト超高压電子顕微鏡の更新に関して、平成24年度国立大学法人施設整備費補助金・基盤的設備等整備分「100万ボルト超高压電子顕微鏡」事業費が交付され、設備更新計画の1/2を実施することが認められるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。 【特記事項】 平成24年度は、電子顕微鏡その場観察法による物質極微プロセスの解明に関して第9回本多フロンティア賞を受賞したほか、「超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)」の活動において、次世代超高压電顕要素技術開発、ならびに共同研究の実施、さらに新たにナノテクノロジープラットフォーム事業により研究支援活動に関する組織・運営体制を整備し、41件の課題を受け入れるなど、積極的に取り組み、大学の年度計画の達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。